

2 年「おせちのひみつ」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう そして、次のことについて書きましょう ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感） ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識） ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働） ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	人々の変わらない願いを持ち続けよう
導入	お正月におせち料理を食べましたか。今日は、おせち料理の秘密を見て考えましょう
展開前段 つなぎ発問①	○一つ一つの料理の意味を知って、私たちは、年の初めにあたって、どんな一年にしたいと願っているのでしょうか ○2 月には、節分があって、鬼に向かって豆を投げますね。鬼は、私たちの家に来てほしくないことや、私たちが逢いたくないこと、起こってほしくないことを表しています。鬼は、どんなことを表しているのでしょうか ○私たちは、どんなことを思いながら豆を投げるとよいのでしょうか ○その他にも。端午の節句やひな祭り、七五三などもありますね。どれも、昔から伝わり、続いてきているものです。
展開後段	昔から変わらない人々の願いとは、どんなことでしょうか
つなぎ発問②	先生も、皆さんと一緒に、変わらない願いを、これからも、ずっと伝えていきましょう
振り返り	